

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 障害者福祉課												
	作成責任者	高橋 千寿子												
	事業名	高次脳機能障害等啓発事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉支援費	会計	一般会計	事業コード	420381	決算付属資料	122	頁
	施策体系	施策コード	050403	施策名	理解を深める啓発を充実させる									
	開始年度	平成19年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市障害者計画、第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	一般的にその障害名や症状等が知られていない「高次脳機能障害」への市民の理解を深めるとともに、当事者やその家族間の交流や情報交換を図る。									
	対象者	市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	-									
	事業概要	・高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会の開催 ・京都府北部リハビリテーションセンター及び当事者家族の会主催事業の広報啓発									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	報償費	要約筆記活動謝礼							2		
	需用費	高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会チラシ代							12		
		※高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会講師謝礼 大雨による中止で支出なし									
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	92	94	94	85	0
		②補正予算			0		
		③流充用額	0	0	0		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	0
		次年度繰越		0	0		0
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	92	94	94	48	0
		国支出金	0	0	0	25	0
		府支出金	0	0	0	12	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.05/0	0.07 / 0	0.21 / 0	0.21 / 0		
⑤概算人件費	400	560	1,680	1,680			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	492	654	1,774	1,765			
⑦執行額	5	60	13				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	5.4%	63.8%	13.8%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数	人	122 / 100	73 / 110	0 / 120	/ 120	120
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		会議開催回数	回	4/4	4/4	3/4	/ 4	4
		単位あたりコスト		1.3	15.0	4.3		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・高次脳機能障害の知名度は低く、支援機関や連携についても不十分であるため、継続して周知啓発を図る必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・学習・交流会の参加費は無料としており、予算は講師料や要約筆記報償費に充てている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・家族の会などと連携して継続実施することで、当事者や家族のニーズを把握しながら啓発活動を行うことができている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	毎年、障害の概要説明のみに捉われず、リハビリテーションや先進事例の報告、家族支援についても発信するなど、当事者・家族のニーズを確認しながら啓発活動を行っており、平成30年度についても継続実施の予定であったが、大雨により中止となった。		
今後の課題及び方向性	高次脳機能障害について広く市民に周知を図り、事故や病気の後に誰にでも起こりうる障害であることを理解してもらうために、専門的な内容に偏らないよう講演内容の選定を図る必要がある。 医療機関や相談支援事業所、障害者通所事業所にも実行組織に加わっていただき、当事者を含むさまざまな関係機関と啓発のあり方について一緒に検討していく。 また、平成30年に京都府により設置された北部リハビリテーションセンターとも連携を図り、啓発を進めていく。			

	所見
庁内及び外部による評価（行革担当課記入）	
三次評価（外部評価）（行革担当課記入）	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・地域自立支援協議会運営事業と統合。
	予算額への反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】